

2016年 APLAC 第22回総会および関連会議報告

2016年6月21日
認定センター (IAJapan)

1 開催日程・場所：

2016年6月11日(土)~17日(金)

於：台湾・台北市 シェラトン・グランデ台北ホテル (ホスト認定機関：TAF*)

*Taiwan Accreditation Foundation

2 会議スケジュール

6月11日(土) APLAC 理事会

6月12日(日) APLAC 理事会・APLAC 委員会議長会議

6月13日(月) ホストエコノミーセミナー

APLAC-PAC 合同広報コミュニケーションマーケティング委員会

APLAC 技術委員会

PAC コミュニケーションマーケティング委員会

6月14日(火) APLAC 技能試験委員会

APLAC 広報委員会

APLAC 研修委員会

APLAC 議長・APLAC 委員会議長会議

6月15日(水) APLAC MRA 評議会

6月16日(木) APLAC MRA 評議会・APLAC 総会

6月17日(金) 第3回 APLAC-PAC 合同総会・APLAC 総会

3 出席者

本総会及び関連会議へは、APLAC 議長である Nigel Jou (台湾 TAF) をはじめ、オーストラリア、中国、香港、インド、インドネシア、フィリピン、日本、韓国、台湾、マレーシア、シンガポール、ニュージーランド、タイ、米国、カナダ、メキシコ、ロシア、ベトナム、パプアニューギニア、モンゴル、パキスタン、スリランカ、サウジアラビア、ミャンマー・モルディブ・カンボジア等の正会員、準会員、賛助会員並びに関連機関等、約 30 カ国・経済地域より約 160 名が参加した。

4 APLAC 総会

4.1 APLAC 議長・理事・委員会議長の改選

議長等 9 つの役職の選挙が行われ、うち 7 名が新任、2 名が再任となった。

APLAC 議長：WW Wong, HKAS, 香港 (新任)

APLAC MRA 評議会議長：Llew Richard, IANZ, ニュージーランド (新任)

APLAC 理事 3 名：

Jennifer Evans, NATA, 豪 (再任)

Trace McInturff, A2LA, 米国 (新任・元技術委員会議長)

Kukuh S. Achmad, KAN, インドネシア (新任)

APLAC 技術委員会議長：Brad Moore, NVLAP, 米国 (新任)

APLAC 技能試験委員会議長：He Ping, CNAS, 中国 (新任)

APLAC 研修委員会議長：Wanji Yang, TAF, 台湾 (新任)

APLAC 広報委員会議長：山本 忠子, IAJapan (再任)

※APLAC 理事は合計 5 名、そのうち、藤田 勲 (IAJapan, 日本)及び Shahrul Sadri Alwi,

(Standards Malaysia, マレーシア)の2名の任期は、2016年1月1日から2017年 APLAC 総会終了日まで。

4.2 APLAC 会員情報

APLAC 議長から次の会員情報が共有された。

MRA 署名機関：38 機関(23 経済地域)

正会員(MRA 署名機を含む)：44 機関

準会員：10 機関

5 APLAC 委員会及び評議会概要報告

5.1 技術委員会

標準物質生産者分化委員会の報告及び審議において、APLAC TC 008 をベースとした ILAC 指針文書作成の提案があったことを受け、合意した。

5.2 広報委員会

APLAC News Notes は年に4回発行から年2回、1月と7月に発行し、コンテンツについても、APLAC の会員数や MRA 署名機関数等、APLAC 自体の最新情報を主体とすることで合意した。

5.3 研修委員会

5.3.1 APLAC RMP/PTP ワークショップ：2016年11月中に香港で“APLAC Workshop on RMP and PTP accreditation”が4日間開催される。講師には REMCO の専門家等も招へいし、秋に制定が予定されている ISO 17034 を含む関連規格について議論、同ワークショップの成果や結果は、TC 008 に反映されることが共有された。

5.3.2 ISO/IEC 17011 研修及び ISO/IEC 17025 研修：2017年中に改正版が発行されることから、ISO/IEC 17011 研修及び ISO/IEC 17025 研修プログラムの企画を担当するワーキンググループが構成された。現在開催地として候補にあがっている地域は、香港、台北、シンガポール、タイ王国であることが報告された。

5.4 技能試験委員会

APLAC が提供している APLAC 技能試験 (PT) プログラムの継続について、ISO/IEC 17011 の改訂に伴い、認定機関が技能試験を提供することができないことを鑑み、APLAC が APMP と連携して提供している技能試験プログラム以外のすべての APLAC PT プログラムを停止することを APLAC 理事会が提案したことを受け、奈良議長から APLAC PT プログラム提供継続の是非について提言がなされた。本委員会で議論した結果、APLAC MRA の信頼性維持のために必要であり、今後も APLAC PT プログラムの提供を継続していくことで合意した。この合意内容を報告した APLAC 総会では、APLAC 技能試験委員会メンバーを含むその他多くの APLAC 会員から、APLAC PT プログラムにはアジア太平洋地域以外から多くの事業者が参加していることもあり、継続を希望する機関が少なくない等、APLAC PT プログラムの提供停止に伴う課題について指摘があり、次回バンコクで開催される APLAC 技能試験委員会で、その目的や運営方法等を見直した上で、次回の APLAC 総会で再度、審議することとなった。

5.5 MRA 評議会：

5.5.1 MRA 署名機関数：6月15日現在の APLAC MRA 署名認定機関情報は以下の通り

MRA 署名機関数 38	検査分野 18
経済地域数 23	臨床検査分野 17
試験分野 35	標準物質生産者分野 14
校正分野 27	技能試験提供者分野 11

5.5.2 APLAC 評価員：

更新された APLAC 評価員リストによる内訳は次のとおり。

主任評価員：37、評価員：35、評価員候補：5、技術専門家：13、暫定評価員（研修を受講した評価員）：53

5.5.3 評価員研修：

ISO/IEC 17011 の改正に伴い、2017 年中に主任評価員を対象とした 3 日間研修が開催される。

5.5.4 改正中の国際規格に関する移行期間について：

MRA 評議会は ISO/IEC 17025 及び ISO/IEC 17034 を対象とした移行期間を 3 年間として合意し、ILAC AIC へ提言することとなった。

5.5.5 ILAC MRA 新規スコープ：

ILAC は技能試験提供者認定を MRA スコープとしている APLAC、IAAC 等の地域機関を対象とした Peer Evaluation (評価)を開始しており、2017 年中に同スコープの ILAC MRA が署名される予定。

6 APLAC/PAC 合同総会：

6.1 APLAC と PAC の統合：2013 年 6 月以降、APLAC 及び PAC が合同で総会を開催し、本合同総会で第 3 回を迎えた。合同総会では、両組織の今後の方向性について審議・検討した結果、3 年以内に新しい組織として統合することが承認された。統合の詳細やプロセスについては、検討委員会を設置し、審議する。

6.2 2017 年合同総会案内：タイ認定機関 NSC-ONSC が次回 2017 年の合同総会の PR 動画を紹介した。

6.3 2018 年合同総会開催告知：2018 年は日本で開催される予定であることが共有された。

今後の開催予定：

1. APLAC MRA 評議会：2016 年 11 月 30 日(水) 終日と 12 月 1 日 (木) の午前
2. APLAC 理事会：2016 年 12 月 1 日(木)午後、2 日(金)から 3 日(土)
※以上、開催地はクアラルンプール、ホスト機関は Standards Malaysia
3. APLAC-PAC 合同総会：2017 年 6 月 16 日(金)から 24 日(土)@バンコク・タイ王国
ホスト機関：NSC-ONSC, DSS-BLA, DMSc-BLQS and ACFS

以上